

競技者各位

公益財団法人 全日本スキー連盟  
競技本部長 皆川 賢太郎  
(公印省略)

2020/2021 シーズン SAJ 国内強化指定選手選考／映像審査について (通知)

標記のとおり、令和 2 年 7 月 27 日付「2020/2021 シーズン SAJ 国内強化指定選手選考基準」で発表の「スノーボード SSBA 男子・女子」、「③映像審査で技術力が認められた者」の基準におきまして、映像審査の申請を以下のとおり受け付けいたします。つきましては、希望者は以下の手順に従い、期日までにお申し込みください。

記

審査対象：年齢・学年に応じ以下の表にあるレベルの映像であること

<男子>

U13～小 5	各テイクオフ方向の回転数合計が 2880 度以上できる
U15～U14	各テイクオフ方向の回転数合計が 3960 度以上できる
U18～U16	OPEN 同様 (エアマットで)
OPEN	1 方向で 1440 を含む 3 方向の回転数合計が 3780 度以上できる

<女子>

U13～小 5	各テイクオフ方向の回転数合計が 1620 度以上できる
U15～U14	各テイクオフ方向の回転数合計が 1980 度以上できる
U18～U16	OPEN 同様 (エアマットで)
U20～U19	1 方向で 1080 を含む 3 方向の回転数合計が 2700 度以上できる
OPEN	1 方向で 900 を含む 3 方向の回転数合計が 2340 度以上できる

※ U13～小 5：2008 年生まれの者 (12 歳) ～小学 5 年生

U15～U14：2006 年生まれの者 (14 歳) ～2007 年生まれの者 (13 歳)

U18～U16：2003 年生まれの者 (17 歳) ～2005 年生まれの者 (15 歳)

U20～U19：2001 年生まれの者 (19 歳) ～2002 年生まれの者 (18 歳)

OPEN：オープン年齢

※ 「方向」とは、フロント、バック、キャブ、スイッチバックの 4 方向を指す

※ OPEN 以外は 2019 年 7 月 1 日以降のエアマット (ミドル以上) での映像とする

※ OPEN は 2018 年 7 月 1 日以降の雪山での映像とする (エアマット不可)

※ 評価観点は「テイクオフの正確さ」、「空中のクラブ」、「着地までの目線」など

※ 当該シーズンの FIS/SAJ 競技者登録者であること

申請方法：上記「審査対象」にある滑走が「評価観点」に沿って確認できる映像を、以下の情報と共に、[ssba.japan@gmail.com](mailto:ssba.japan@gmail.com) へ提出

<メールへの記載情報>

➤ 氏名、加盟団体 (都道府県)、所属団体 (クラブチーム名)、学年、生年月日

➤ 撮影時期、場所、キッカーサイズ、その他説明 (大会か練習かなど)

※ 動画サイズが大きい場合にはファイル転送サービス等を利用の上、送信すること

申請期日：締切日 2020年8月31日（月）

※ 期日まで提出されないものについては審査対象外とする

審査方法：提出された映像をスノーボード SSBA チームスタッフが技術評価を行ない審査する

合否通知：審査の合否は、以後の諸手続き方法と共に申請時のメールアドレスへ通知される  
（手続概要：調査票、国内強化指定選手指定契約書、課題の提出、など）

<国内強化指定選手の活動範囲等>

- NTC 競技別強化拠点を優先利用できます。（宮城県 東北クエスト、青森県 青森スプリング）
- 国内合宿・海外遠征に召集され SAJ から派遣される場合は、所属先に対し SAJ から派遣依頼文書を発信いたします。なお、個人での合宿、自主トレーニング又は施設利用に関わる活動については SAJ から所属先へ文書は発信しません。
- 国内合宿・海外遠征への参加は、原則全額自己負担となります。
- 公式ユニフォームは配布いたしません。ただし、国際大会等に参戦するため派遣された場合において、公式ユニフォームを着用していただくこともありますので予めご了承ください。  
（FIS ワールドカップ、FIS 世界選手権大会、FIS ジュニア世界選手権大会などの国際主要大会派遣基準に国内強化指定選手が選考される場合があります。）
- 国際スキー連盟又は本連盟の公認大会に出場する場合には、本連盟が定める「強化指定選手に関するスキー・スノーボード用品使用上の指導要項」に従ってスキー・スノーボード用品を使用しなければなりません。
- 所属加盟団体への国際大会参戦のための参加許可申請は不要です。国際大会参加許可申請手数料も無料となります。

以上